

1 脳卒中・心臓病その他の循環器病に関する予防や正しい知識の普及啓発

➤疾患の発症予防、前兆、症状、発症時の対応等も広く県民へ広報

2 保健・医療及び福祉に係るサービス提供体制の充実

➤急性期から回復期・生活期（維持期）まで一貫した診療提供体制の構築が必要

- ・医療の質の評価
- ・救急搬送体制の整備
- ・心不全の地域連携パスの導入

重点取組事項について（3）

1 脳卒中・心臓病その他の循環器病に関する予防や正しい知識の普及啓発

➤疾患の発症予防、前兆、症状、発症時の対応等も広く県民へ広報

■ポスター：脳卒中、心筋梗塞等の原因になる「高血圧」を予防するためのPRに利用



■チラシ：脳卒中版・心筋梗塞版の2種類を作成予定

表：それぞれの疾患の前兆や症状等→必要な時は、迷わず救急要請

裏：脳卒中→発症リスクを高める要因、脳卒中の機序、予防のために実践できること

心筋梗塞→発症リスクを高める要因、健診、予防のために実践できること



※来年度以降の取り組みとして、県民向けの公開講座など、広く県民に広報するための効果的な手法について検討

重点取組事項について（2）

2 保健・医療及び福祉に係るサービス提供体制の充実

➤急性期から回復期・生活期（維持期）まで一貫した診療提供体制の構築が必要

救急搬送体制の整備

- 大動脈緊急症の救急医療体制の強化：「埼玉県大動脈緊急症治療ネットワーク」の構築
→令和4年4月運用開始を目指し、現在、参加医療機関を募集

運用開始後は、参加医療機関等による運営会議を立ち上げ、「搬送実績の評価」「課題抽出」などの検討を埼玉県MC協議会にも諮りながら行っていく。



重点取組事項について（3）

2 保健・医療及び福祉に係るサービス提供体制の充実

➤急性期から回復期・生活期（維持期）まで一貫した診療提供体制の構築が必要

心不全の地域連携パスの導入

- 埼玉県版「心不全手帳」の作成（大宮医師会「心不全共本」を参考に）
→利用可能な医療機関で活用。
中核病院と地域の郡市医師会単位で取り組めるような形を支援
- 心不全に係る専門職の活用
 - ・心不全看護認定看護師
 - ・心不全療養指導士 等

※次年度以降の在宅療養の関係者等の既存の研修会の中で「心不全」について取り扱っていただけるよう依頼



氏名: _____